

Business 02

AgriTech 次なる成長事業への取組み



AI営農でサステナブルな農業を実現

市場環境



人口増加による
食糧需給問題



農業従事者の
高齢化と減少

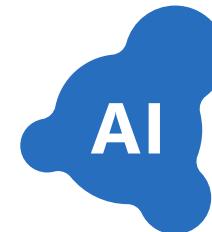


肥料の高騰・
環境負荷軽減
への対応



AgriTech市場
2027年 5.16兆円
年平均成長率
12-13%

農業支援サービス
CropScope



作物シミュレーション
↓
農業デジタルツイン



単位面積
当たりの
生産量UP



ポルトガル実証実験2020
窒素肥料
20% 削減
(一般農家平均と比較)



熟練農家と
同等の営農を
AIで実現



ポルトガル実証実験2022
灌漑量15%削減しつつ
収穫量20%増

NECは本市場で2025年に連結売上50億円ビジネスを目指す

カゴメ株式会社と合弁会社を設立

加工用トマトのAI営農支援を全世界で積極的に展開

■ ポルトガルでの実証実験を経て、世界へサービス販売を開始



将来性

営農支援に灌漑・施肥の自動化などを加え、さらなる営農の効率化をめざす



CropScopeの他作物展開

トマト栽培のノウハウを他作物へ応用
11カ国に14種の作物でサービスを展開中

■ さまざまな企業や研究機関と連携して世界中へ拡大

展開実績11カ国



対応作物14種

トマト・小麦・大豆
じゃがいも・米
玉ねぎ・とうもろこし
さとうきび・ニンニク
コーヒー・てんさい
メロン・スパイス
ブロッコリー
(AI営農はトマトのみで提供)

将来性

AI営農により、世界中で消費される水の約7割を占める農業用水を大きく節減
地球環境課題に貢献できる可能性

